新品種・新技術の確立
支援事業　取組概要
（R4）

黄色LED防蛾灯による小面積防除技術

＝兵庫県＝

【全体概要】

平成28年頃から、本県ではネギ等葉菜類においてシロイチモジヨトウ被害が多発している。シロイチモジヨトウは薬剤抵抗性を発達させ、これまでの化学合成農薬のみによる防除では限界があるが、交信攪乱法では、10a程度の小面積圃場で効果が安定しないことが課題であった。そこで、黄色LED防蛾灯を利用することにより化学合成農薬に頼らず、小面積ほ場でも効果が高い本技術を導入した。

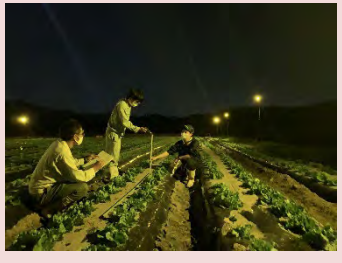
新品種・新技術等の概要

本技術は、ネギ等葉菜類栽培の夜蛾類防除において有効な技術。太陽光発電の活用が可能である黄色LED防蛾灯を夜間に点灯させると、夜蛾類が忌避、行動抑制を起こすため、薬剤抵抗性を持つ夜蛾類にも効果があり、化学合成農薬だけに頼らず小面積防除でも有効な防除技術である。

主な取組内容

黄色LED防蛾灯による小面積防除技術について、県内２ヶ所（葉ネギ及びレタス）で実証ほを設置し、技術導入時のポイントを検証した。

また、実需者との意見交換会により、実需者ニーズや商品のPR方法について調査した。



実施体制図

実績と今後の展開

葉ネギ栽培での実証では、黄色LED防蛾灯の一定の防除効果が認められた。また、レタス栽培における同防蛾灯の防除効果は高く、費用対効果から見ても普及性は高いことが分かり、収穫時期の早い作型の方が、防除効果が高い可能性が示された。

技術導入のポイントは、照度を1lux以上確保すること、点灯確認をこまめに行うことであることが分かった。

○レタス栽培における所得向上　対照区比　110%

今後は、シロイチモジヨトウ対策のための有効な技術の１つとして産地に普及させ、ネギ等葉菜類の安定生産を目指す。